

日本人におけるステージ 3 以上の慢性腎臓病発症リスクに対する body mass index の量・反応関係：茨城県健康研究

辻本 健彦^{1,2}、西連地 利己^{2,3}、磯 博康⁴、入江 ふじこ⁵、山岸 良匡^{2,6}、
渡辺宏⁷、田中 喜代次^{1,2}、武藤 孝司³、大田 仁史²

- 1) 筑波大学体育系
- 2) 茨城県立健康プラザ
- 3) 獨協医科大学医学部公衆衛生学講座
- 4) 大阪大学大学院医学系研究科社会医学専攻公衆衛生学
- 5) 茨城県保健福祉部保健予防課
- 6) 筑波大学医学医療系社会健康医学
- 7) 茨城県総合健診協会

【目的】日本人における body mass index (BMI) とステージ 3 以上の慢性腎臓病発症リスクとの関連を検討すること。

【方法】対象者は、茨城県内における 1993 年の基本健康診査の受診者で慢性腎臓病の既往歴のない 40～74 歳の男女 105611 人であった。対象者の慢性腎臓病発症を 2006 年まで追跡した。ステージ 3 以上の慢性腎臓病発症の定義は推定糸球体濾過量が 2 回以上の健診で 60 ml/min/1.73 m²未満となった時点、もしくは腎臓病治療開始時点とした。BMI 区分 (18.5 未満、18.5～20.9、21.0～22.9、23.0～24.9、25.0～26.9、27.0～29.9、30.0 以上) の慢性腎臓病発症に対する多変量調整ハザード比は Cox の比例ハザードモデルを用いて算出し、可能性のある交絡要因で調整した。

【結果】平均 5 年の追跡期間中に 19384 人 (男性 6283 人、女性 14015 人) のステージ 3 以上の慢性腎臓病発症が確認された。ステージ 3 以上の慢性腎臓病発症に対する多変量調整ハザード比は、BMI が 21.0～22.9 を基準とした場合、男性で BMI が 23.0 以上、女性で BMI が 27.0 以上で有意に高値を示した。また、男女ともに、BMI とステージ 3 以上の慢性腎臓病発症率との間に量・反応関係が認められた。

【まとめ】肥満は、男女ともにステージ 3 以上の慢性腎臓病の発症リスクと関連する。

【キーワード】慢性腎臓病、body mass index、肥満、量・反応関係、疫学